

【学校教育目標】

自ら学ぶ意欲と豊かな心を持ち、主体的に行動できるたくましい生徒の育成
○自主的で、意欲的に学ぶ生徒（知・智）
○心豊かで、思いやりのある生徒（徳・情）
○健康で、ねばり強い生徒（体・情）

生徒の心の芯を鍛える取組



体を鍛える体験活動

心を磨く体験活動



各種学校行事では(体育的行事を中心に)



心身の健全な発達や健康の保持増進などについての理解を深めさせ、安全な行動や規律ある集団行動の体得、運動に親しむ態度の育成、責任感や連帯感の涵養、体力の向上などに積極的に取り組めるようにする。

各種学校行事では(儀式的行事を中心に)



望ましい人間関係を形成し、集団への所属感や連帯感を深め、公共の精神を養い、協力してよりよい学校生活を築こうとする自主的、実践的な態度を育てるとともに、学校生活に有意義な変化や折り返し目をつけ、厳粛で清新な気分を味わい、新しい生活の展開への動機付けとなるような活動を経験させる。

部活動では(自らの特技を中心に)



部活動は、学級や学年を離れて生徒が活動を組織し活動することで生徒の自主性、協調性、責任感、連帯感などが育成され、仲間や顧問教師と密接に触れ合う場として大きな意義がある。加えて、生徒の自己有用感の育成にもつながるようにする。

各種ボランティア活動では(地域との絆を中心に)



ボランティア活動を通して社会の一員であるということの自覚と役割意識を深め、人間尊重の精神、地域の人々との幅広い交流や社会貢献・社会参加により、生徒自らが、社会の中で共に生きる豊かな人間性を培い自分を見つめなおし、自己実現に向かって人生を切り拓く力を付けさせる。

保健活動では(健康増進を中心に)



生涯にわたって心身ともに健康で安全な生活を主体的に実践できる生徒を育成するとともに、健康の大切さを認識し、自ら健康課題を解決したり、自他の生命を尊重し、安全な生活を営むとともに、正しい食事の在り方や望ましい食習慣を身に付けながら自らの健康管理ができる能力を育てる。

地域との活動では(キャリア教育を中心に)



生き方指導としての進路指導・キャリア教育の充実を図るとともに、生徒一人一人が、進路に対する目的意識を高めるとともに発達段階に応じて望ましい勤労観や職業観を身に付けさせる。特に、職場体験などの実体験により、積極的に進路を考えさせる。

日々の授業では(保健体育科を中心に)



心と体を一体としてとらえ、運動や健康・安全についての理解と運動の合理的な実践を通して、生涯にわたって運動に親しむ資質や能力を育てるとともに健康の保持増進のための実践力の育成と体力の向上を図り、明るく豊かな生活を営む態度を身に付けさせる。

日々の授業では(道徳を中心に)



基本的な生活習慣や社会生活上のきまりに関する指導とともに、人間としてよりよく生きるために、家庭・地域社会との連携を図る。外部講師や地域教材を積極的に活用して、心を磨く指導を行うとともに、自ら行動する態度を育てる。



道徳教育

人権教育

生徒指導

教育相談

総合的な学習

環境教育等

学校図書館・読み聞かせの取組

読書活動の充実を生徒の心の成長の必要条件と捉え、その場を計画的に設定する。



安全教育

健康教育

防災教育

食育

特別活動

教科指導

外部講師・外部指導者の導入

授業や部活動等において、生徒への専門的な指導を行い、生徒の力量を高める。

保護者・地域の理解と支え
(PTA各組織・学校医薬関係者・学校応援団・自治会・警察関係・公民館・地域事業所・他)